

問四 傍線部3「お前に心はない」なんてとても言えそうにない」のは、筆者には実際に犬がどのようにみえるからか。本文中の言葉を用いて四十文字以内で説明せよ。

[illegible]

問五 波線部の「心の病気」の原因を、筆者はどのようにとらえているか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えよ。

情報化社会のもと、人々が情報処理に徹しようとした結果、逆に動物と同じレベルの頭脳しか持たなくなってしまったから。

口 人々が、情報処理機械としての「機械の心」を作る野望を抱いたものの、それが挫折に終わり、どうしてもいかなかったから。X

ハ 情報化社会の進展によって、温かく心を通わせることが難しくなり、人々が癒しがたい孤独を感じるようになったから。X

二 社会の情報化で、人々が自分の心を情報処理機械のように思いこんで、心を温かく通わせる気持ちを見失いつつあるから。

ホ 人々が、ようやく自分の心を機械だと信じるようになってきたものの、「温かいハート」からの脱却がまだ不十分だから。

例題 C

「具体例」とその「まとめ」との関係に注意してみよう

例題 C 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

① 人間のあり方を考えるのに、人類学^aが、チョゾウして来た様々の文化の、これまではどちらかと言えば、X^bと考えられて来た事例の方が、新しく立ち現れる現実を説明するのに時にはより有効^cであると考えられるようになって来た。

②たとえば、次のようなニュー・ギニアについての記述は十数年前までは、馬鹿々々しい、痴れ者の戯れと考えられたかも知れない。しかし、今日これを読む人に、何やら、自分が秘かに言いたいと思っていることを代弁されていると思う人は決して少なくないであろう。

③ パプアニューギニア共和国の、アサロ河流域のグルンバ族の住民は、時々、発作的な行為に走ることがある。ある暑いけたるい日のひるさがり、村の中を一人の男が突然逆上して走り出す。彼は目につくものを片っぱしからよこせと要求する。こうした時に、回りの人々は彼には全然逆らわない。壺つばでも石の切れ端でもナイフでも、何でも彼に渡す。野ブタ1の如く変身した男は、木製の矢じり、こんがらがった糸、煙草、石鱚せつけん、衣類、ナイフ、網、皿といったザツタな物で大きな袋が一杯になると、それを担いで森の中に姿を消す。

的外役に立たない

〔出典〕

山口昌男

文化人類学の視角

具体

X

5

例題 C

4 二、三日すると彼は袋を持たず、手ぶらで帰って来る。燃やしたり、どこか人知れぬ場所に埋めたり、壊したりしたのである。

5 こうした振舞いは、グルンバ族の間では文化の中の許容範囲に入っている。男は、森の中に身体中の キンチョウをしぼり出して来たというふうに理解され、彼はふだんの生活に戻っていく。しかし何日もたたないうちに、また別の男が野ブタになる。

6 他の社会で、犯罪人とか、通り魔とか暴走族といった枠の中に入っていく人の多くはこうした社会では、平常の人間で生涯を送れたかも知れない。ある意味では、こうした行為は、ストレスに対する解放装置になっているといってもよいかも知れない。

7 オセアニアの多くの地域においてそうであるように、グルンバ族の感情生活、社会生活は、おおかた物の交換の上に成り立っている。交換は、社会的コミュニケーションの根幹になるようなパイプであり、交換の場は、最も暗れがましい劇場である。交換においては、純粋な経済的機能はそれほど大きな位置を占めていない。人前で、見せびらかしながら品物をやり取りする行為は、むしろパフォーマンスと言った方がよいようである。それは、既に存在する関係を一方では強調しながらも、他方では新しい関係（交通）を打ち立てるという働きをしている。

8 野ブタ 人間の出現は、多くの場合この交換の場に関連している。交換のと

きに渡すものがなかったりした男は、面子を失ってストレスを起こす。このやり場のない感情が彼を駆り立てて、彼をして、野ブタ 人間に変身させるというわけである。

9 これより少し剣呑なのは、インドネシアにおけるアモックという現象である。このアモック現象は、人々の殺傷を含む。インドネシアのジャワ島のある村落で、ある一人の男が突如として刃物を持って走り出す。彼は手当たり次第に回りの人を傷つける。通り魔そのものである。村の人々は、それぞれ武器を持って、彼を追いつめる。追いつめられた男は、時には殺されることもある。この男の場合も、ドウキはバプアニューギニアのグルンバ族の野ブタと似ていないわけではない。多くの場合、借金が返せないかどうかの理由で面子を失った男が、突如として変身をトげるのである。よく知られているように、村落レベルのジャワ島民は物腰が柔らかで、恥ずかしがり屋で物静かである。面子を失うというのは、耐え難い状態であるとされる。

10 考えようによつては、社会がむしろこうした男の出現を心待ちにしていると言えないこともないのである。こうした男を追いつめることによつて、社会もまた、その社会が抱えている内側の危機をのり越える、つまりカタルシス（浄化作用）を行っていると言えないことはないのである。

イ 天衣無縫
口
荒唐無稽

問三 傍線部1「野ブタ」の如く変身した男」とあるが、「男」が「野ブタ」の如く変

身」する主な理由を、この例に即し、本文中の語句を用いて五十字以内で説明せよ。

[illegible]

最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

イ 前者が個人を社会の従属から解放するのに対し、後者は発作的な行為をする個人を社会に統合する機能を持っている。

37

イ 社会には、人前で見せびらかしながら品物をやり取りする交換の場が必要である。

ロ　野ブタ　人間や通り魔はこの社会にも存在するから
あえて排除する必要はない。

ハ社会は 犯罪人・通り魔・暴走族という枠の中に入る人を平常の人間として扱
うべきではない。

二 交換が 社会関係を作り出す機能を持つ行為として重視される社会もあることを見逃してはならない。